

平成25年4月16日

都道府県バスケットボール協会理事長 様
都道府県バスケットボール協会審判長 様
都道府県ミニバスケットボール連盟理事長 様
都道府県ミニバスケットボール連盟審判長 様

公益財団法人日本バスケットボール協会
審判委員会
日本ミニバスケットボール連盟
審判・規則委員会

ミニバスケットボールのコート・デザインの運用について（通知）

公益財団法人日本バスケットボール協会発行「2011～バスケットボール競技規則」の改正により、「コート・デザイン」の大幅な変更がありました。これにより、随時、公共体育館等のバスケットボールコートが修正されてきています。そのような中で、ミニバスケットボールの競技については、新コート・デザインを修正し、ミニバスケットボール競技規則に準じたコート・デザインに修正して行われています。

しかし、競技会場により新コート・デザインで行わざるを得ない状況が起きています。大会運営上、現行の競技規則では難しいことも考えられるので、子どもたちに不利益が生じない限り、新コート・デザインで行ってもよいこととします。

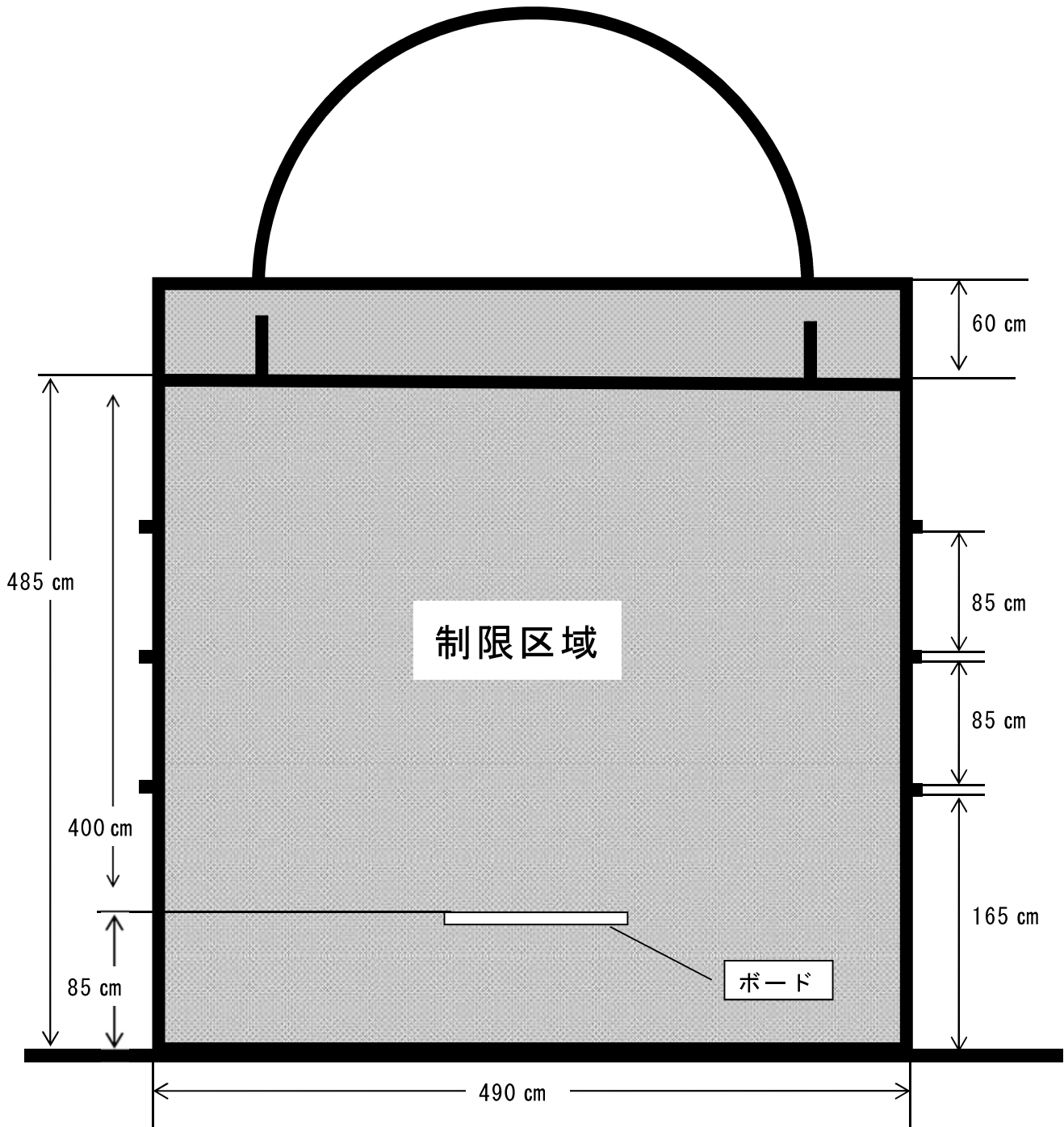
なお、制限区域（コート・デザイン）の作成にあたっては、別紙「新コート・デザインを使用する場合」を参考にしてください。

[添付書類] ・新コート・デザインを使用する場合

以上

新コート・デザインを使用する場合

1. ゴールの位置が変更できない場合



※ラインの幅は5 cm

※フリースローラインを60 cmエンドライン側

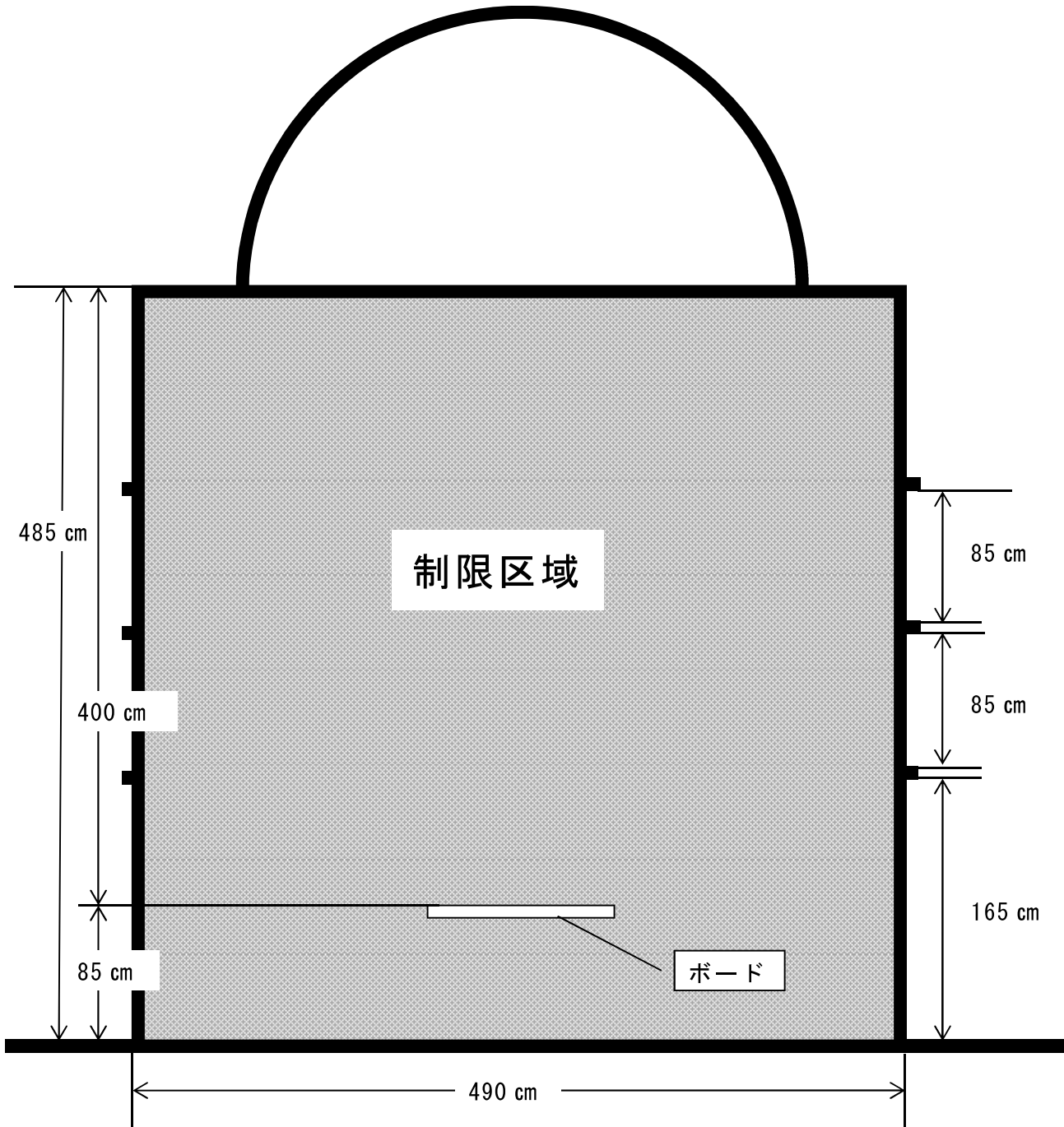
※ボードから85 cmの位置にエンドライン（正規の一般コートのエンドラインを35 cmカット）

※フリースローラインから4 mの位置にボード

※定位置に入らないプレイヤーはフリースローを行う半円よりも後方に位置させる（正規よりも60 cm後方）

新コート・デザインを使用する場合

2. ゴールが可動式の場合



※ラインの幅は 5 cm

※フリースローラインから 4 m の位置にボード

※ボードから 85 cm の位置にエンドライン

※エンドラインは一般のコート（正規）のエンドラインを 95 cm カット